

めぶく。プラットフォーム前橋
(地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会)
第3回会議(第2回総会)
議事要旨

I 日時

平成31年 3月29日(金) 午前9時59分～10時55分

II 場所

前橋商工会議所会館 3階 アイビー

III 出席者

委員・オブザーバー 17名 ※別添「第3回会議(第2回総会)出席者名簿」参照

IV 会議経過・発言要旨

1 開会

(事務局)

ただいまから、めぶく。プラットフォーム前橋 第3回会議を開会します。なお、今回は、第2回総会として開催をさせていただきます。開会にあたり、本協議会の会長である山本市長より、ご挨拶をいただきます。山本市長、よろしく申し上げます。

【市長あいさつ】

おはようございます。本日はお忙しい時間、各委員にお越しいただきましたことありがとうございます。前橋は学びのまちであります。学年期の学び、若者たちの新しい学び、就労した後の学び、生涯学習の学び、様々な観点から、めぶくプラットフォームにより、人材の養成・喜びの拡大ともに努めてまいります。様々な意見をいただきながら、めぶくプラットフォームへの取り組みを行ってまいります。お力添えよろしく申し上げます。ありがとうございました。

ありがとうございました。本日は、過去2回の協議会や共同事務局での議論を踏まえ、本プラットフォームが取り組むべき方向性についてご協議いただきます。その後、本日の議論も踏まえた方針案骨子、今後の進め方につきましてご協議いただきます。

なお、本日の会議では、出席者間での共有を目的に会議録を作成させていただきます。前回同様、会議録として公表する際には発言者名を非表示とすることで対応させていただきます。ご了承ください。

それでは、早速ですが議事に入らせていただきます。会則では、総会の議長は会長または会長が指名した者が務めることとしております。会長より、運営委員会の委員長である共愛学園前橋国際大学の大森学長を指名したいとの意向を伺っておりますので、大森委員にお願いしたく存じます。よろしく願いいたします。恐れ入りますが、大森委員様、議事の進行をお願いします。

2 議事

(1) 審議事項 本プラットフォームが取り組むべき方向性について

ご指名をいただきましたので、議事を進行させていただきます。

【大森学長あいさつ】

おはようございます。年度末の大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ご指名いただきましたので、議長を務めさせていただきます。

本日用意されております審議事項「本プラットフォームが取り組むべき方向性」について、ということで前回議論いただき、もう少し具体的なものをお示しできるよう、共同事務局により進めさせていただきました。まだ、方針の方向性というところではありますが、少し前に進めたと思います。そちらについて議論いただき、その後、報告事項に移りたいと思います。よろしく願いいたします。

はじめに、本日議事の審議事項である「本プラットフォームが取り組むべき方向性」について、事務局よりご説明をお願いします。

<事務局より、資料1・資料2に基づき説明>

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございました。前回の会議では、どのような課題があるのかを皆さまからご意見を出し合って議論をいただきました。そこから、さらに共同事務局で協議を行ってまとめたのが資料1であります。前回の会議でも申しましたが、この協議会で、取り組み内容について計画からすべてを検討、決定するのは難しいところもあります。そこで、実際に取り組むために必要な実行部隊として部会の構成について、資料2のとおり提案がありました。具体的には、大学活性化部会、学生定着・U I J部会、人材育成部会、総務部会の4つの部会を立ち上げることで方向性が示されました。

部会の編成メンバーは共同事務局の中で議論をして、それぞれにお願い・招待をさせていただくことになると思います。3つの部会で具体案を検討し、総務部ではプラットフォーム自体の持続可能な運営体制について検討します。そのあたり、皆さまいかがでしょうか？

また、資料2では、取り組みに対する目的を文章化し、テーマを“前橋で学び、前橋で働き、前橋で生きる”を据えておりますが、いかがでしょうか？
ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

(前橋商工会議所：群馬銀行 岡庭室長)

様々な課題がある中で、目的もテーマもまとまっておりますし、部会についてもそのまま進めてよろしいかと思えます。

我々もたくさんのお客様の課題を解決していく中で、人材の問題が多いです。(企業が) 学生・大学へ訪問することは難しいですし、学生も企業についてよく知らないと聞きますので、マッチングをやっていくうえでも部会はよいと思えます。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございます。学びの場というところで中島さんいかがでしょうか？

(前橋商工会議所：(学) 有坂中央学園 中島理事長)

(前橋商工会議所の) 労務・人材育成専門委員会の委員長であります。産業界の要望についても議論することもあります。おそらく市内の教育機関と産業界の交流がされていなかったのだと思えます。教育界と産業界の人材育成における具体的な取り組みを、この場を通じて進めることができればよいと思えます。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございます。今回“前橋で学ぶ”ということで、前橋は大学以外にも専門学校が充実しておりますので、専門学校においても進路の選択を広げていけるようタッグを組めたらと思えます。

大学のほうはどうですか？宮下理事長お願いします。

(公立大学法人 前橋工科大学 宮下理事長)

それぞれの大学が厳しい状況に置かれています。地元との関係性が薄い状況ですので、この場を活用して地域と大学をつなげていければと思えます。地域とのつながりは大学が生き残っていく柱となりますので、これらを進めることで市内の大学が生き残れるよう頑張りたいです。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございます。今年度、方向性をまとめ、4月からは具体化して1つでも形を作っていかなければ、時間だけ経過してしまうのでしっかりと取り組みたいと思えます。坂本さんいかがでしょうか？

(国立大学法人 群馬大学 坂本課長)

本日、学長の平塚が欠席のため、学長に代わって申し上げたいと思います。

国立大ということもあるので、県内外から学生を受け入れ、また世界に通用する人材を輩出したいと考えております。“前橋で学ぶ、前橋で働く、前橋で生きる”という考え方について、国立大の立場から結論は出しづらいですが、キャンパスは前橋にありますので、可能な限り、前橋の発展のため、協力していければと思います。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございます。大学もそれぞれ主体やビジョンは違いますが、例えば、群馬大学も学生の半分が県内に残るので、その方たちが続いていられるような環境を作ることも大切だと思います。

行政から稲田部長いかがでしょうか？

(前橋市 稲田部長)

大森学長がおっしゃった通り、あくまで方向性の話なので、具体的な取り組みをしていきたいです。部会の編成メンバーには先進地の事例に対してアンテナを張っていただき、前橋市にはどのようなことが必要なのか意見を出していただきたいです。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

京都の先進事例を見に行ったが、先進的で我々のやろうとしていることの参考になりました。プラットフォームは持続的にしていきたいです。

他に意見はありますか？よろしいでしょうか？なければ、この方向性と4つの部会で取り組むことで了承をいただいたということで進めたいと思います。なお、次の議事で報告がありますが、上半期中に、4つの部会のうち総務部会と大学活性化部会を先行して立ち上げたいと考えておりますのでご理解とご協力をお願いします。

(2) 報告事項 ①方針案骨子について ②今後の進め方について

続いて、報告事項である「方針案骨子」及び「今後の進め方」につきまして、事務局よりご説明をお願いします。

<事務局より、資料3・資料4・資料5に基づき説明>

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございました。ただ今の説明に対して、ご質問・ご意見等がございましたら、挙手のうえご発言をお願いいたします。

(前橋商工会議所：(学) 有坂中央学園 中島理事長)

産業界の求める人材は多様化し、グローバルになっています。中小企業においても 20～30 年の間、独自の教育は進んでおりませんでした。東南アジアをはじめ世界的なビジネスが求められるようになり、グローバルが身近になっています。

これだけ大学がありますが、人材育成と多様な教育の提供について、大学のハード面とソフト面で可能なのでしょうか？問題に対して柔軟に対応できるかが、産学官連携につながるとお思いますので、お願いしたいです。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

大学が多様な教育の提供ということで、多様化している部分もありますが、まだ明確ではない部分もあります。例えば、社会人の学び直しについて、明和短大さんでは社会人向けのプログラムがありますよね？

(学校法人 平方学園 明和学園短期大学 田口 哲男 教授)

栄養と保育でやっております。また、委託訓練事業もやっております。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

各大学の社会人の受け入れはいかがでしょうか？

(前橋工科大学 星学長)

これまで社会人の受け入れを行ってきたが、産業構造的な理由もあるのか、学ぼうとする社会人が減ってしまった。社会人の受け入れという面について、大学院のほうが最初から社会人の受け入れを行っている。内容のレベルの高い大学院のほうが、世界で通用する人材育成が進むと思います。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございます。大学院における学び直しのニーズも増えていると思います。群馬大学さんはどうでしょうか？

(国立大学法人 群馬大学 坂本課長)

大学院も（社会人学生が）けっこうおりますが、社会情報学部で平成 29 年から社会人の学び直しをスタートしました。「社会人のためのデータ解析」というプログラムで定員 10 名のところ 13 名集まりました。社会人にとってデータ分析は興味のある分野だったと思います。今年度も引き続き取り組み、120 時間で履修のところを今年度は 60 時間で履修できるように対応しました。

(前橋商工会議所：(学) 有坂中央学園 中島理事長)

産業界と一体となり、研究テーマを出して、産業界からも人を出し、一緒に様々な分野を研究することで、学生によい刺激を与えることができ、人材育成にもつながると思います。産業界だけでは取り組みづらい分野もあるので、こういったことを具体的にやることはできるのでしょうか？また、理系の方が共同研究をやりやすい環境にあって、文系ではなかなかそうはいかなかった部分もありますが、近年の流れであれば文系でもマネジメントなど経営の分野でできると思います。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

例えば、群馬大学や前橋工科大学では地域企業とチームを組んで取り組みを行っています。ただし、文系の経営や国際では進んでいないようです。企業から講師を呼ぶことは、学生の学びにつながりますが、企業の人材育成までいたっていないと思います。非常勤講師として派遣し、教えることを通して自身のブラッシュアップにつながるようなプログラムを作ろうとしており、そういった面で、プラットフォームのテーマがあっていると思います。

地域の産業ニーズに対する1つ1つのマーケットは小さくなく、1つの大学で行うことは経営的に難しいが、プラットフォームを通じて産業界と協力することで複数の大学へ講師を派遣することができると思います。

(前橋市 山本市長)

産業界が頑張るしかないと思います。学ぼうとする社員の応援と学びたいという学生たちへの社員の派遣を請け負えるかが変わると思います。プラットフォームでは、発生する費用を誰が負担できるのかを議論できる場ではありますが、負担できるのはプラットフォームと行政しかないと思います。議論を詰めて産業界の覚悟を感じさせてもらいたいと思います。

(前橋商工会議所：(株) ヤマト 新井 代表取締役会長)

その点については産業界も考えてくると思います。地方創生の一役を担うというのは、産業界が負担することになると考えておりますので、学生が社会の現場を体感できるような講座があればと考えております。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

ありがとうございます。金子社長いかがでしょうか？

(前橋商工会議所：カネコ種苗(株) 金子代表取締役社長)

大事なテーマで様々な考え方、視点があると思います。個別で社会人講師として職

業観や地域で生きることについて話すことはありますが、まとまった形でしっかりとやることは大事で、産業界してはやるべきだと思います。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

今までは理論をまとめてきましたが、実行に移すとなると資金のことや人手のことなどリアルな問題が出てくると思います。普段、学生に対して課題解決プログラムを提供し育てているわけですが、我々自身、答えの見えないことをしっかりと取り組んでいかなければいけませんので、協力して未来の若者のために出し合えるものを出したいと思いますし、支援いただけることも確認しあえる会となりました。ありがとうございました。

これをもちまして議事は終了しましたので、引き続きの進行は、事務局にお返しをいたします。

(事務局)

大森委員様、ありがとうございました。本日の協議項目は終了しましたが、全体を通して、何かご質問・ご意見等はございますでしょうか。

3 その他

(事務局)

- ・文部科学省の特別補助金となります、私立大学等改革総合支援事業タイプ 5 プラットフォーム形成のスタートアップ型の部門におきまして、本プラットフォーム「めぶく。プラットフォーム」が採択となったことをご報告します。
- ・本プラットフォームの取り組みについて、産学官が協力し、行政がリーダーシップをとるやり方が全国でも着目され、内閣府や文部科学省から視察をいただいています。平成 30 年度の文部科学白書のコラムとして掲載となりましたのでご報告します。
- ・資料 5 の方針骨子案のブラッシュアップについては、産業界内でこれまでの取り組みを共有いただき、ご議論いただいた意見を取り入れながら話を進めていきたいと考えております。また、教育界や行政においても更に内容を詰めて、来年度 4 月から動き出したいと思いますのでご協力をお願いします。

4 閉会

(事務局)

それでは、以上をもちまして、「めぶく。プラットフォーム協議会 第3回会議（第2回総会）」を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。